IoTを活用した予防保全型の新しい品質管理サービス

「時間」を基準にした保全から、「状態」を常時監視する保全スタイルへ。保守コストの低減と復旧の迅速化を実現します。

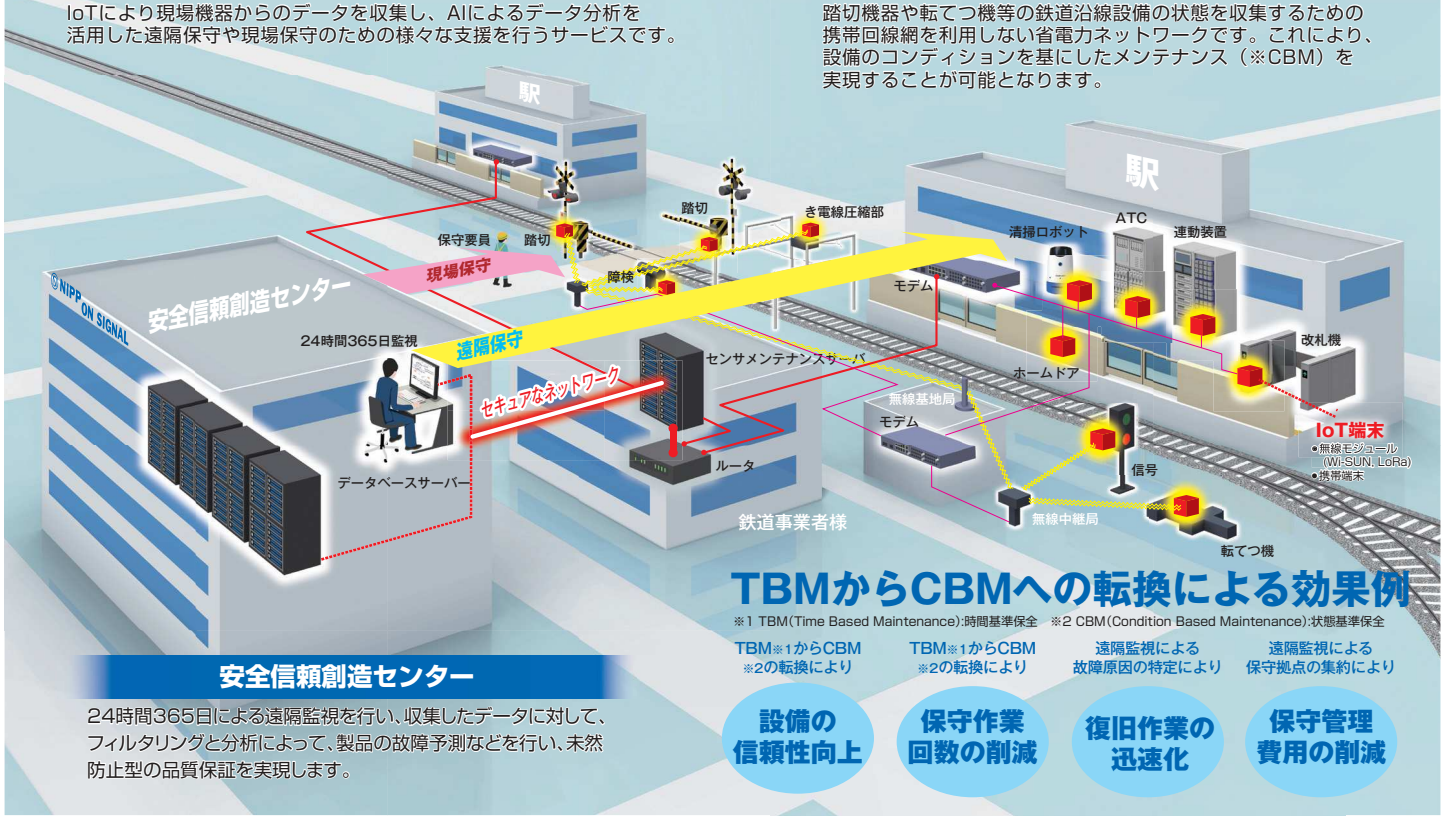
安全信頼創造センター

あんしんアイ

IoTにより現場機器からのデータを収集し、AIによるデータ分析を活用した遠隔保守や現場保守のための様々な支援を行うサービスです。

日本信号のセンサメンテナンス

踏切機器や転てつ機等の鉄道沿線設備の状態を収集するための携帯回線網を利用しない省電力ネットワークです。これにより、設備のコンディションを基にしたメンテナンス（※CBM）を実現することが可能となります。



安全信頼創造センター

24時間365日による遠隔監視を行い、収集したデータに対して、フィルタリングと分析によって、製品の故障予測などを行い、未然防止型の品質保証を実現します。

TBMからCBMへの転換による効果例

※1 TBM(Time Based Maintenance):時間基準保全　※2 CBM(Condition Based Maintenance):状態基準保全

TBM※1からCBM※2の転換により	TBM※1からCBM※2の転換により	遠隔監視による故障原因の特定により	遠隔監視による保守拠点の集約により
設備の信頼性向上	保守作業回数の削減	復旧作業の迅速化	保守管理費用の削減

- IoTを活用し、あらゆる日本信号製品を「いつでも、どこでも、誰でも状態が分かる」ようにすることで、鉄道のシステムチェンジ（保守の省力化）を実現する。
- 設備の特徴や過去事例にもとづくデータ分析により、機器故障を予測し、ダウンタイム低減につなげるサービスを提供する。

提供可能アプリケーション

転てつ機監視 / 踏切監視 / VAM監視 / 連動メモリ監視 / 制御子監視 / き電線監視 / 2D障検監視 / ZB監視 / ロックモニタクラウド / MTDクラウド / 編番表示タブレット